

広報 つきがた

No. 101

昭和53年4月10日発行

発行/新潟県月潟村役場

毎月10日発行 1部10円

(昭和52年7月22日第三種郵便物認可)

人口動態	3月31日現在		3月中の異動	
	世帯数 797	人口総数 3,864	出生 5	転入 17
	(男 1,890 女 1,974)		死亡 3	転出 26



どうですか？
いちねんせいに見えるでしょ

月潟小学校にこそしめかわい
一年生が入学しました。男児三十
二人、女児二十二人の合計五十四
人で、一組さんと二組さんに分か
れています。

訪問したときは、丁度「音楽」
の授業でした。

「おうまの親子は仲よしこよし」

川をきれいに 4月は河川美化月間

川と人間の暮らしは、古代文明の
発達を見るまでもなく、深いつな
がりがあります。

日本は、河川の多い国で、その
総延長は約二十万キロにもなりま
す。

この河川は、日常の暮らしのな
かでいろいろな川の恵みを受けて
私達の生活に無くてはならない
ものといえます。

「三尺下れば水清し」というこ
とが昔から言われてきました。こ
れは、俗説のようにとられている
面もあるようですが、科学的にも
正しく、専門用語では川の「自浄
作用」と呼ばれています。

水の浄化作用とは、家庭の下水
などに含まれて排出される有機物
質を分解、酸化すること、水中に
酸素を供給することなどをいいま
すが、これには、川の中に住む大
小さまざまな動物、植物、細菌が
参加しています。

動物による浄化作用では、淡水
海綿、カラスガイ類、マメシジミ
ドブシジミなどですが、イトミミ
ズは二十四時間で、自重の四倍
(乾燥量)、一年間で六〜十二キ
ロの泥を食べるそうです。

細菌類や植物による浄化作用で
は、バクテリアによる酸化、その
他の細菌や藻類の酸化作用、水中
の緑色植物の酸素の放出などがあ
ります。

川は生き物です。この自浄作用
は、川が汚濁という病気から回復
しようとする努力といえるでしょ
う。

もっとも、この自浄作用は、パ
ランスのとれた自然の生態系の中
で始めて可能で、あまり汚れすぎ
ると病氣は治らず、死んだ川にな
ってしまいます。

きれいな川のまま、次代に引き
継ぐ義務が私達にあるのではない
でしょうか。